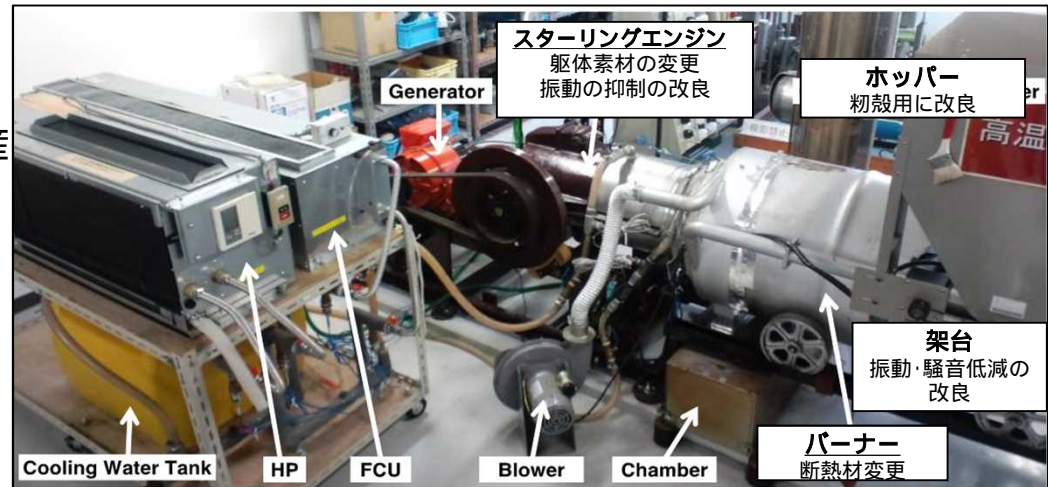


リノベーション・実証の概要

ミャンマーの電力不足と電力供給の不安定さから、ミャンマー市街地の工場及びミャンマーの農村部の集落ではディーゼルエンジンが発電及び動力に多用され大量のCO2排出源となっている。一方でミャンマーは初殻を始めとするバイオマスが大量に生産され、これらを燃料とするバイオマス発電も行われているが、タールの発生が大きな課題である。そのため、タールの発生しないバイオマス燃料とするスターリングエンジンがディーゼルエンジン代替のCO2削減策として期待されている。本事業ではスターリングエンジンST5をミャンマーに普及させるため、製造コスト低減、現地バイオマス燃料への適合化等について改良を行い実証する。

スターリングエンジンST5外観とリノベーションの内容



対象とする国・地域の概要

・対象地域では工場及び集落にディーゼルエンジンが普及している。
 ・これら工場及び集落では電力供給が不安定である。



地図データ©2016 Google

対象地域: Mawlamyine Gyun Township

対象とする国・地域における事業化・普及の見込み

事業化見込み

- STEP1: リノベーションの検討・プロトタイプ製作・現地試験 / ビジネスモデル精緻化(合併先検討を含む)
 - STEP2: モデルサイトでの実証、CO2削減量の評価
 - STEP3: ミャンマー国内での設備の導入展開、生産の現地化
- 普及の見込み**

2023年度に20台 / 年、2027年度には800台 / 年の普及により、2030年度までに累計約4000台程度の普及を見込む。併せて技術指導を通じた現地生産化を目指す。(2023年度)